

「辺野古に基地を絶対つくらせない大阪行動」便り vol.3



Fさん。昨年(2016年)の1月、辺野古の座り込みに参加した時の事。

毎週ピラ配りしとって辺野古に行ったことがなかった。格安ピーチは車いすは乗れない。沖縄でのバスも乗れなかったし、泊まる場所も入れなかった。それで1週間レンタカーを借りて、唯一泊まれる所は機動隊と同じホテル(辺野古の海を見渡せる豪華ホテル)だった。ごぼう抜き大好き。介護せなあかんから逮捕はされない。5、6人の機動隊に持ち上げられてほかさされる。一緒に座り込みをしていた人たちから「電動車いすの人が10人来たら工事が止まる」と感心された。

優生思想とたたかう。自分よりも下のもんやと思うから大阪府警の「土人」差別発言がでた。相手のことをどうしようもないもんと思うから殺すことができる。戦争はいらんもんから殺される。戦争中も障がい者は疎開させなんだ。障がい者を殺すのはいらんもんを殺す思想につながる。経済優先の社会。いる命といらん命をわける世の中やったら、いくら辺野古反対いうてもあかん。

写真右
9月9日は雨。ピラ配りも署名とりもできなかったけど、カラフルなバナー(Oさん作)を持って、道行く人々の視覚を捉え訴える。しかし、酔っ払いにからまれたりもする。



写真左

9月30日、妨害にあう。

妨害男(写真下)地面に敷かれたバナーを踏んづけて「こんな公道にこんなもん貼り付けてどういうつもりや!許可とってんのか!」われらがOさん「はい。曽根崎さんはいいと言うてます」男「なんやと~!」Rは何してんねん!」Oさん「JRさんもいいと言うてます」男「警備員なにしてんねん!こんなんほっといてええんか!」警備員さん「...」ということでこの人は1時間半ちかく、大阪行動のそばに居り、最後に警察に電話をして写真のような風景になりました。まあとりあえずバナーははずそかということになりました。男(写真上)も警備しているJR職員になんか文句を言うてるところです。なんやら「選挙が近づくといらつく人が増える」と警備の人が言っていたそうです。

先月号のAさんに少し怒られました「僕を良く書きすぎている。あんなに紳士ではない」と。充分紳士やけどなあ。すみません。

編集委員 T

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!